

神奈川県支部便り 令和3年10月

辟雍会神奈川県支部会「総会」についてのお知らせ 辟雍会神奈川県支部会
会長 萱野政徳

秋令の候、皆様お元気でご活躍のことと存じます。

さて、例年11月に開催しておりました「辟雍会神奈川県支部会総会」については、まだコロナ禍の状況が不安なことから、昨年同様今年度も中止とする判断をし、総会後の「講演会(研修会)」・「懇親会」共に中止と決定しました。ワクチンや治療薬の開発が進み、少しずつコロナウィルスのこともわかってきましたが、まだまだ社会活動を戻すには難しいことがたくさんあり感染対策も続きそうです。来年には収束を迎えまた皆様と有意義な貴重な時を過ごすことを楽しみにしております。この中でも季節は巡り、さわやかな心落ち着く秋風が心地良い日々となりました。どうぞ皆様お健やかにお過ごしください。



神奈川県支部は2011年に初会式を開いて、本年10周年記念の支部総会を企画してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、上記のように中止とさせていただきます。しかしながら、来年こそは記念総会を考えております。その10周年に因んで創設時のお話を、当時から会長を務めていただいている萱野政徳先生、副会長の立花徳子先生に語っていただきました。

神奈川県支部のスタート

「歴史ある開港の地・神奈川は遅しく歩む」を心に秘めて神奈川県支部は歩み出しました。



「老若男女・学びの会」教育現場での悩み解決・現実の職の充実が図れる生き方の追求の場を提供しようという主旨で設立されました。

2011年11月26日(土)に、ミュージアムシンフォニーホールで支部初会式が、辟雍会会長(当時東京学芸大学学長) 鷲山恭彦先生(ドイツ文学)と組織部長の筒石賢昭先生(音楽演劇)をお招きして開催されました。(左の写真は報告書と参加者)



第2回神奈川県支部総会は、学びの会として、揚石洋子さんと呼んで「グローバルな生き方とは」について語っていただきました。顧問の大竹美登利先生(家政学)にも参加していただきました。教育現場での悩み解決・現実の職の充実が図れる生き方の追求の場、これが神奈川県支部としての会を推進しました。参加者の中から「学校は、不条理を学ぶ所」という言葉を頂いた時は、衝撃でした。よかれと思っていることが、我慢を強いたり納得いかない事を押し付けていたのかと、振り返りました。

第2回神奈川県支部総会は、学びの会として、揚石洋子さんと呼んで「グローバルな生き方とは」について語っていただきました。顧問の大竹美登利先生(家政学)にも参加していただきました。教育現場での悩み解決・現実の職の充実が図れる生き方の追求の場、これが神奈川県支部としての会を推進しました。参加者の中から「学校は、不条理を学ぶ所」という言葉を頂いた時は、衝撃でした。よかれと思っていることが、我慢を強いったり納得いかない事を押し付けていたのかと、振り返りました。



編集後記

本部から辟雍会通信6号が発信されたのは9月下旬でしたが、支部パートの編集に手間取ってしまい、お届けするのが遅くなりました。最近、辟雍会神奈川県支部のFACEBOOK

(<https://nl-nl.facebook.com/TGU.hekiyo.kanagawa/>) のアクセス数が多くなってきて、小金井祭の記事には、96人の方がリーチしてくれていました(10月12日)。閲覧されたらコメントもお願いします。

支部事務局 原英喜: oyo5.hhara@gmail.com

